

ロシアの有人火星ミッションは新しい段階に入る

RUSSIAN MANNED MARS MISSION ENTERS NEW PHASE

MOSCOW - The Russian Information Agency (RIA Novosti) is reporting that the Russian manned Mars mission project has entered a

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=113691>

new phase. Russia's Keldysh Research Institute has started tests of the components and equipment of an ...

NASAはGPM(グローバル水分含有量測定器)マイクロ波イメージャ開発製造にボール社を選定

NASA SELECTS BALL FOR GLOBAL PRECIPITATION INSTRUMENT

GREENBELT, Md. - Ball Aerospace and Technologies Corporation of Broomfield, Colo. has been chosen for the development, fabrication,

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=113679>

pre-launch and post-launch support of the Global Precipitation Measurement (GPM) Microwave Imager ...

帯域幅は一つの問題であるが、最大の問題ということではない

BANDWIDTH AN ISSUE, BUT NOT THE ISSUE

WASHINGTON - During a special High Technology Committee seminar at the National Press Club, Air Force Chief Information

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=113646>

Officer John Gilligan responded to a question by Forecast International. He said that satellite links are ...

インドとベネズエラは宇宙の協力で覚書を交わす

INDIA AND VENEZUELA SIGN MEMORANDUM FOR SPACE COOPERATION

NEW DELHI - India's Department of Space (DOS) and Venezuela's Ministry of Science and Technology (MCT) have signed a

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=113677>

Memorandum of Understanding on cooperation in space science and technology. The Indian Space Research ...

次世代MILSATCOMに係る米海軍のMUOSはPDRを完了し、設計に進む

NEXT GENERATION MILSATCOM EFFORT PASSES MILESTONE

SUNNYVALE, CALIF. - The Mobile User Objective System (MUOS) team led by Lockheed Martin successfully completed the

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=113686>

System Preliminary Design Review (PDR) with the U.S. Navy. The System PDR kicks off a key design and development ...

CF34-10E、FAAのエンジン型式承認取得

IHI発表、EMBRAER190/195に独占搭載

石川島播磨重工業(IHI)は17日、開発に参画している民間機用ターボファン・エンジン「CF34-10E」開発が完了し、このほどFAAエンジン型式承認がされ、ジェットエンジンとして正式運用が認められたと発表。

当該エンジンは、さまざまな最新技術が導入されており、既存エンジンと比べNOxを12%削減させる低環境負荷であると共に、燃費改善により既存機に比べ運航コスト10%以上削減する。

また、当該エンジンは、2000年に米GE(ゼネラル・エレクトリック)社と共同スタートした国際共同開発事業であり、IHIは日本航空機エンジン協会(JAEC)のもとでエンジン全体の約30%のシェアで設計・開発・製造の事業に参画し、低圧タービンモジュール、高圧コンプレッサ後段部分、シャフトなどジェットエンジン主要部位を担当。な

お、CF34-10E開発事業には、わが国から、IHIの他、川崎重工も参画している。

CF34-10Eは、エンブラエル社(ブラジル)が開発中の90~118人乗りEMBRAER190,195型機に独占搭載される。

リージョナルジェット(地域間航空機)と呼ばれるこのクラスの航空機は、主に中小都市間短距離輸送に応える航空機であり、欧米を中心に導入計画が急速に拡大中。

EMBRAER190/195型機は、すでに米ジェットブルー社、エアカナダ社等の航空会社から171機の確定受注を得ており、その他にオプション受注155機を得ている。この結果、当該エンジンは開発完了の現時点で650台以上の受注を得ており、引続き受注拡大が予測されている。同エンジンを初搭載するEMBRAER190型機は、今

年8月に商業運航予定。

さらに、IHIは、CF34-10Eをベースに開発されるCF34-10Aエンジン開発にも参画する事を決めている。CF34-10Aエンジンは、中国が開発する79人から99人乗りのリージョナルジェット機ARJ21に独占搭載されることが決まっており、飛行試験を2007年予定。

ARJ21型機は500機の需要が見込まれており、エンジン台数にして1,000台以上になっている。

IHIは、着実に伸びている世界の航空輸送需要に応え、今後とも、ジェットエンジン事業拡大を図っていくとしている。

2005年3月18日 19:33 WIRE NEWS (2005/03/18)

バイオテロ: 犯人をどうやって特定するか

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050318302.html>

危険な病原菌をまき散らすバイオテロ。その犯人を突止めることは困難を極める。サンディエゴで開催された米国化学会の年次総会では、細菌のゲノム解読から、「水の指紋」の採取によって病原菌が培養さ

れた地域の特定に結び付ける手法に至るまで、さまざまな議論が交わされた。

2005年3月18日 19:33 WIRE NEWS (2005/03/18)

インテル主催の高校生科学コンテスト、優勝者はナノテク研究

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050318303.html>

米インテル社はこのほど、同社が後援する高校生対象の科学コンテスト『サイエンス・タレント・サーチ』(STS)の今年度の受賞者を発表。優勝者はナノテクノロジーで毒物検出方法を考案した17歳。奨学金10万ドルが贈られる。

戦場や被災地で活躍、携帯通訳機『フレーズレーター』(下)

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050317309.html>

携帯情報端末(PDA)に似た手のひらサイズの『フレーズレーター』は、英語フレーズ(句)をしゃべると、対象言語対応フレーズの MP3 ファイルを再生し、後で通訳に聞かせるため相手の返事を録音する。ユーザの声

を認識するよう学習させる必要はなく、再生時に使うのは合成音声ではなく肉声だ。

050308CSA Briefings via Ms. Abe S&T Officer at Canadian Embassy Tokyo

政策：インドとベネズエラは宇宙協力で覚書を締結

7. POLICY: India And Venezuela Sign MOU On Space Cooperation

New Delhi, India (SPX) Mar 07, 2005 -- A Memorandum of Understanding (MOU) on cooperation in space science and technology was signed today (March 5, 2005) between the Indian Department of

Space (DOS) and the Ministry of Science and Technology (MCT) of Venezuela.

打上げ：最初のインマルサット-4 は打上げ準備完了

8. LAUNCH: First Inmarsat-4 satellite ready for launch

March 8, 2005 -- The world 痴 largest and most sophisticated commercial communications satellite, Inmarsat 4, is due to be launched from Cape Canaveral, Florida, on 10 March. Designed and built by

EADS Astrium, Europe 痴 leading satellite manufacturer, the spacecraft will be launched between 21:42 and 21:59 GMT aboard an International Launch Services • Atlas V launch vehicle.

衛星通信：インテルサット・ジェネラル社は新しい軍用/政府向けブロードバンド・サービスを開始

10. SATCOM: Intelsat General Introduces New Military/Government Broadband Service

Washington DC (SPX) Mar 08, 2005 -- Intelsat General Corporation (IGC), a satellite networking service provider to the U.S. military and other government agencies, will launch its new GlobalConnex Network

Broadband service tomorrow, Tuesday, at the AFCEA TechNet Tampa show, March 8-9.

航法：北京のタクシーはハイジャックに対抗するため GPS を使用した防護装置を積むことに

11. NAVIGATION: Beijing Cabs To Have GPS Protection Against Hijacks

Beijing (XNA) Mar 07, 2005 -- Beijing cabs will have GPS (Global Positioning System) devices installed in the future to protect them from being hijacked, according to industry sources. The devices, or

"Terminal" as it is called, contain the following equipment: GPS antenna, communication antenna, alarm button, monitoring device, hand held or headset phone and display screen.

宇宙飛行：中国宇宙飛行士は第二回の有人飛行に備えて訓練中

12. SPACE FLIGHT: (Chinese) Astronauts In Training For Second Manned Spaceflight

Beijing (XNA) Mar 07, 2005 -- China is training 10 astronauts in five pairs in the run-up to its second ever manned spaceflight, scheduled for this fall, a leading rocket expert has revealed. "About one month prior to the formal launch, two pairs of trainees with comparatively poorer performance will be disqualified. But it will not be decided till the last

minute which pair of the remaining three can become the formal pilots," Huang Chunping, the chief launch vehicle designer of the country's manned spaceflight program, was quoted as saying by the Beijing Times newspaper Friday.

[国際関係・一般]

航空機摩擦 米欧交渉、暗礁に 主張に大きな隔たり

朝日新聞 05年03月22日 朝刊 8面 3段 2735

防衛大卒業式で小泉首相 「新たな脅威へ対処能力を」

東京新聞 05年03月22日 朝刊 2面 3段 写 3059

防衛庁 一元管理で効率化へ ミサイルなど開発から廃棄まで

読売新聞 05年03月21日 朝刊 2面 3段 0194

大野防衛長官 ライス長官と会談 在日米軍基地「共同使用検討を」

読売新聞 05年03月20日 朝刊 4面 2段 0132

大野功統防衛庁長官、会談で 基地の共同使用、ライス氏に要請

東京新聞 05年03月20日 朝刊 2面 1段 0736

パキスタン、弾道ミサイル実験

読売新聞 05年03月20日 朝刊 7面 1段 0144

パキスタンがミサイル実験

毎日新聞 05年03月20日 朝刊 6面 1段 0281

パキスタン 中距離弾道ミサイル発射成功

日本経済新聞 05年03月20日 朝刊 5面 1段 0419

パキスタンがミサイル実験 核開発の意欲示す

東京新聞 05年03月20日 朝刊 7面 1段 0753

英国紙報道 ウクライナのミサイル 中国・イランに輸出

朝日新聞 05年03月19日 朝刊 7面 3段 0329

ウクライナ 核搭載可能 ミサイル不正輸出認める

中国、イランに計18基

読売新聞 05年03月19日 朝刊 7面 4段 0452

前政権下のウクライナ イラン・中国にミサイル輸出

日本経済新聞 05年03月19日 朝刊 6面 1段 0700

横田基地の共同使用で防衛庁長官「自衛隊の管理で

米軍の運用検討」

毎日新聞 05年03月19日 朝刊 5面 1段 0564

ウクライナ イランと中国にミサイル売却

産経新聞 05年03月19日 朝刊 6面 1段 0914

小泉純一郎首相 米向けミサイル迎撃せず

日本経済新聞 05年03月19日 朝刊 2面 1段 0666

インドネシア政府 ガルーダ・インドネシア航空の

インドラ社長解任

日本経済新聞 05年03月19日 朝刊 7面 1段 0711

大野防衛庁長官 横田基地「共用化」米国と協議

東京新聞 05年03月19日 朝刊 2面 2段 1005

宇宙開発委員会 **観測衛星開発2トン以下に変更**

日本経済新聞 05年03月21日 朝刊 21面 1段 0560

文科省 **地球観測衛星故障で報告書**

日刊工業新聞 05年03月21日 朝刊 13面 1段 0950

ペンシルロケットに学べ **開発支えたのはベンチャ精神**
型破り研究者が歴史をつくった

日本経済新聞 05年03月20日 朝刊 31面 5段 写表 0462

[宇宙利用・宇宙からの観測・宇宙環境利用・宇宙実験]

謎のエネルギー「ガンマ線バースト」 史上最強、日本の衛星が検出
3万光年の中性子星から

東京新聞 05年03月22日 朝刊 25面 5段 写図 3097

国立天文台 月に隠れるアンタレス 各地の観測報告
インターネットで募る

日本経済新聞 05年03月20日 朝刊 38面 1段 0470

チャイム＝アンタレスが月に隠れるアンタレス食 国立天文台
インターネットで報告受け

産経新聞 05年03月20日 朝刊 31面 1段 0659

土星の衛星 大気存在

産経新聞 05年03月19日 朝刊 3面 3段 写 0898

[防災・環境・資源・エネルギー]

海洋研究開発機構 地球シミュレータ利用 一部有料化
民間対象 今年下期にも実施

日刊工業新聞 05年03月22日 朝刊 22面 4段 2044

社説＝首都直下型地震 被害想定し軽減対策検討を

日刊工業新聞 05年03月21日 朝刊 3面 3段 0870

[技術・産業]

実装技術特集 電子部品実装技術 デジタル家電、電子機器、
産業機器の生産に不可欠

電波新聞 05年03月22日 朝刊 6面 5段 写 2095

海上技術安全研究所まとめ 船舶流体研究の世界会議

定量評価で課題確認

日刊工業新聞 05年03月21日 朝刊 5面 3段 0886

オムロン 自動車用電子部品開発強化 京都と愛知

専門組織や拠点拡大

日本経済新聞 05年03月20日 朝刊 7面 3段 0426

独創を拓く知の群像(26)＝消耗戦でもあきらめない

日本経済新聞 05年03月20日 朝刊 31面 3段 写 0464

[通信・放送・IT]

[経営・人]

ニュースがわかる＝会社法案、来年施行へ M&A法制防衛策を先行

合併対価の柔軟化、1年凍結

日本経済新聞 05年03月22日 朝刊 17面 5段 写図表 2961

直撃この人に聞く＝カナダ航空宇宙工業会 常務理事

ロン・ケーン氏 航空機部品、技術力に自信

日刊工業新聞 05年03月22日 朝刊 7面 4段 写 1991

日本アルカテル 3G通信機器提供へ 藤井克美社長に

事業戦略を聞く 衛星から海底ケーブルまで揃う

電波新聞 05年03月22日 朝刊 2面 5段 写 2070

非破壊検査機器にオリンパスが参入 カナダ社を101億円で買収

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年03月22日 朝刊 3面 2段 3244

放送株一斉高 ライブドアによるフジテレビ争奪思惑で着火

WOWOWにも関心

株式新聞 05年03月22日 朝刊 1面 8段 図 2635

ライブドア メディア戦略 野望と現実(下)＝参入目的は放送免許？

ブランド付き「箱」の認識

日本経済新聞 05年03月21日 朝刊 9面 3段 写 0522

社説＝日本航空 御巢鷹の反省はどこに

朝日新聞 05年03月19日 朝刊 3面 3段 0311

社説＝日航連続ミス 構造的な要因があるのでは

読売新聞 05年03月19日 朝刊 3面 3段 0436

社説＝日航改善命令 掛け声だけで終わるな

東京新聞 05年03月19日 朝刊 5面 3段 1017

社説＝日航重大ミス 人事より具体的防止策

北海道新聞 05年03月19日 朝刊 2面 3段 1477

会社法06年施行 M&Aルール国際標準に

買収防衛前倒しの企業も

河北新報 05年03月19日 朝刊 12面 4段 表 1581

私の視点＝作家 猪瀬直樹 運輸多目的衛星 膨大な税金ムダ遣い

朝日新聞 05年03月19日 朝刊 13面 5段 写 0364

[航空輸送・エアライン]

ANA加盟の航空連合 中部国際空港で6月社長会 国際線誘致をPRへ

中日新聞 05年03月19日 朝刊 9面 5段 1666

国交省 日航改善命令 安全面の“機能不全”を指摘組織統合の

遅れ解消し信頼回復目指せ

読売新聞 05年03月19日 朝刊 12面 7段 図 0487

JALいまだ“低空経営” 完全統合後空白の1年 国交省から

事業改善命令 スリム化遅れ閉塞感

日本経済新聞 05年03月19日 朝刊 13面 5段 写表 0744

首都圏レポート＝航空貨物輸送 独走成田に待った

中部 地元勢シフト 羽田 深夜帯に強み

日本経済新聞 05年03月19日 朝刊 35面 5段 写図表 0811

ブラジル社が小型飛行機発売 燃料は安いエタノール

フジサンケイビジネスアイ 05年03月19日 朝刊 7面 3段 写 1125

注視的照片＝キャセイ・パシフィック 「国泰航空」航空再編の

うわさが絶えることはありません

フジサンケイビジネスアイ 05年03月19日 朝刊 11面 5段 1161

顧客満足鑑定団(21)＝中部国際空港セントレア アクセスの

良さうけてテーマパーク並み来場者

日刊自動車新聞 05年03月19日 朝刊 5面 4段 写図 0114

JALグループ 中期経営計画発表

07年度に連結利益1000億円を

週刊観光経済新聞 05年03月19日 朝刊 12面 3段 0189

日本貨物航空 中部初、欧州へ貨物便 9月に開設へ

米国線も週3便に

中日新聞 05年03月18日 朝刊 9面 3段 1291
